

潮来高の目標地域で共有

運営協 基本方針を承認

県立潮来高(潮来市須賀)は24日、同校が目指す学校づくりなどを地域住民らと共有する「コミュニティ・

スクール」を開催した。保護者や市民代表らで構成する学校運営協議会委員に高野光章校長が本年度の学校運営の基本方針



を説明し、重点目標や生徒支援・進路指導計画などを全委員が承認した。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は県立高では、2021年度に那珂湊、石

学校運営の基本方針を説明する高野光章校長

下紫峰が導入。22年度からは潮来、日立、磯原郷英坂東清風が加わり、計6校で制度を活用している。学校と地域の連携・協働の強化▽社会全体での教育▽地域とともにある学校づくりが図られると期待されている。

同校の教育目標について高野校長は「人間性豊かな『自立した生徒・自走できる生徒』の育成」を掲げた。その上で、重点目標として①基礎学力の定着②社会を意識したキャリア教育の推進③豊かな人間性の育成④学科や地域の特色を生かした教育の充実⑤信頼される学校づくりの推進⑥働き方改革の推進⑦授業改善に取り組むとした。

委員は、学校運営に必要な支援などについて協議を行ったほか、校則や部活加入率、地元企業との関わり方、大学との連携などにつ

いて質問した。

高野校長は、同校の強みとして「20、30代の若手教員が4割を占め、生徒たちの気持ちを理解し、寄り添

う力に優れる。そこに、ベテランの教育力や地域の声をミックスさせて教育を進めていきたい」と力を込めた。(小室雅一)

2025. 6. 29 (茨城新聞) (18面)